

港湾空港部長 閉会挨拶

本日は、大変お忙しい中、本検討会議にご参加賜りまして、ありがとうございます。
ました。

本日の検討会議におきましては、特に、臨海部のコンビナートの防災対策等を
念頭にご議論をいただきました。

既にご案内のとおり、中国地方には、瀬戸内海の臨海部に世界に誇るコンビナ
ートが多く存在しております。昨年の東日本大震災のような巨大地震が発生し、
埋立地盤の液状化によりコンビナートが被災すれば、火災等により周辺住民の生
命財産に甚大な影響を及ぼすほか、物流機能の麻痺や生産機能の停止、ライフ
ラインの寸断、さらには基幹産業のサプライチェーンに甚大な打撃を与えるおそれ
があることを懸念しているところで、これが、本会議を開催させていただくこと
となった一番大きな趣旨でございます。

本年度は、10月の第1回検討会議以降、水島港及び徳山下松港での意見交換
会、チャート式耐震診断システムの利用説明会を開催するなど、堤防・護岸の現
況の確認を中心に取り組みを進めてきたところです。

今後は、本日の議論でのご意見を踏まえながら、引き続き、民間事業者及び港
湾管理者の皆様と連携しつつ現況の確認を進め、対策を講じることが特に重要な
地区を把握すると共に、具体的箇所の確認方法等についても、検討を進めて参り
たいと考えております。

委員の皆様には、来年度も引き続き、ご意見を賜ればと考えておりますので、
ご指導の程、何卒よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。